

# 原発事故への対応の経費を東電に求め、観光業への補償請求の援助を 大東議員が一般質問で市の対応を求める

大東議員は一般質問で、東京電力福島第1原子力発電所事故による市の対応とその経費を東京電力に求めることや、観光業への補償請求に市として援助するよう求めました。

市長は、「避難者受け入れに要した費用、放射線量測定器の購入費用、検査委託費、下水道汚泥関連費用などがあり、賠償請求する方向で検討している」と答えました。

観光業の補償請求について市長は、「市内の観光関係者がスムーズに請求手続きをおこなえるよう相談室群馬補償センターなどと連携しながら対応を図っていきたい」と答えました。



## どうする どの年金 いま声を上げなければいけないのでは 年金問題の請願2件は継続審査

12月定例市議会に提出された「年金受給資格期間の10年への短縮を求める請願」と「0.4%の年金引き下げをもとに戻すことを求める請願」は、民生福祉常任委員会で審議され、継続審査となりました。

審査では、「きびしい時代。もとに戻すことはできない」ので不採択といった意見や、「高齢者の生活を支える年金制度を充実させるためにも、国に意見を上げることが必要」なので採択し意見書提出を求める意見などが出されましたが、委員会として通常国会での動向も見ながらさらに審議をすすめることとなり、請願は継続審査となりました。

## 最終処分場の埋め立てが2013年10月で完了予定

来年4月から燃えないゴミの処理を民間委託へ

上川田町にある最終処分場の残容量が3,450m<sup>3</sup>で、2013年10月で満杯になると予想され、市では来年4月から燃えないゴミの処理を民間委託するための検討をはじめていることを明らかにしました。

ゴミの処理は、自区内処理が原則であり、ゴミの処理ができなくなれば混乱が起こることも考えられ、責任あるゴミ処理の計画を早急に立てる必要があります。

## 生活困窮者に暖かい手をさしのべる社会保障の充実をめざし

利根沼田 生活と健康を守る会を結成

「利根沼田生活と健康を守る会」設立総会が14日、利根沼田文化会館で開かれました。



生活困窮者にやさしい社会保障の充実を国や地方自治体に求めることや、仲間増やしなどの運動方針を決め、会長に穂苅清一氏など役員を選出しました。

2011年12月25日

NO. 285

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

**やまびこ**

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料



首相は記者会見で、原発事故で被災した人たちのために、除染と健康管理、賠償に全力をあげると言いましたが、住民の声にこたえるためにも、原発はどうなっているのか、対策はどこまですすんでいるのか正しい情報を伝え、事故の原因究明と政府が原発からの撤退を決断することが必要です。

こんには。東京電力福島第1原子力発電所事故について、野田首相が記者会見で原子炉が「冷温停止状態」に達し、事故そのものは「収束」に至ったと宣言したことが、被災した住民や関係者、専門家からきびしい反響を受け、海外からも「危険から目をそらすものだ」と批判の声があいついでいます。

東日本大震災にともなう原発事故から9ヶ月、福島原子力発電所はいまだに炉心の状態さえつかめず、汚染水が漏れ出すなど事故も相次ぎ、避難した住民は故郷に帰る展望さえ示されていないのに、口先だけの「収束」宣言で安心させることはできません。

こんには 大東のぶゆき です



## ぶらい散歩 めまた道 利根町 三社神社 古寺の大榎

根利川をはさんで日向側を「日向南郷」、日影側を「日影南郷」とよび、ほぼ同じ頃にできたと考えられています。

日影南郷は勢多郡に属していましたが、日向南郷は柿平、小松とともに利根郡に属していました。

三社神社は、日向南郷にあった諏訪社、大山祇社があり、柿平の大山祇社と小松の熊野社が明治時代に合併し、日向南郷に現在ある三社神社となりました。

市指定天然記念物の「古寺の大榎」は、日向南郷から柿平にむかう道添いにあり、推定樹齢400年、樹高約19m、根本周囲約4mある大木です。

寛文12年(1672)に沼田市の了源寺の末寺として、光林寺が建立されその頃植えられたものといわれています。



日向南郷の三社神社



柿平へとむかう道のわきにある古寺の大榎